

▼この記事は動画をご視聴いただけます。詳細は5ページをご覧ください。

あま市初の全国大会健康都市連合日本支部総会・大会 開催

第19回健康都市連合日本支部総会及び大会を7月13日(木)・14日(金)の2日間に渡り、あま市美和文化会館で開催しました。健康都市連合日本支部に加盟する都市等の代表者、ボランティア団体及び関係者が健康都市の発展に向けて知識や技術を開発・共有するため、全国各地からあま市に集結しました。



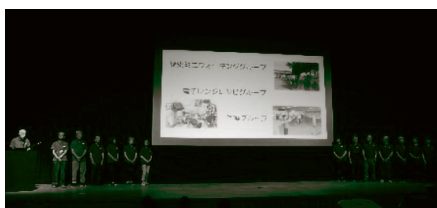
総会は、健康都市連合日本支部支部長である千葉県松戸市の本郷谷市長と、開催都市として本市の村上市長の挨拶で始まり、議事は滞りなく進められました。

また、総会の最後には、東京医科大学教授で健康都市連合事務局長である中村桂子先生から「持続可能な健康都市の展開のための指標の活用に関する研究：総合指標の開発」の成果発表がありました。

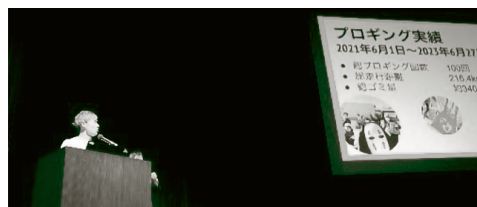
総会後の大会は『ともに想い ともに創る 人生100年時代』をテーマに開催し、東京都西東京市による『「健康」応援都市を目指して』と題しての健康づくりへの取り組み、千葉県市川市による『健康寿命日本一のまちづくり』に向けた取り組み、花王株式会社による『「食べる」「歩く」で生活習慣改善！地域の健康づくり支援と健康経営推進』の取り組みについて活動発表が行われました。



基調講演では、あま市民病院の梅屋病院長より「あま市民病院」を事例に、地域のニーズに対応した公立病院の役割とその充足のための取り組みを紹介し、加えて、健康寿命の延伸のために今後対応すべき課題についての提言がありました。



開催都市としての本市の活動発表では、正則保育園とあま市活き生き推進隊とのコラボによる『あま体操』の紹介、活き生き推進隊による『みんなに元気のおすそ分け』と題して「歴史ミニウォーキング」、「電子レンジレシピ」、「あま体操」について活動成果の発表、あま市を中心に活動するRAPOエコの水端代表による『RAPOエコってなに？』と題して「プロギング(スウェーデン発祥のゴミ拾いのスポーツ)」、「環境問題」、「健康」の取り組みについて活動発表が行われ、本市で行っている健康づくりに対する活動について、全国に向け発信することができました。



また、加盟都市等によるPRパネルの展示や加盟都市のボランティア団体を中心とする交流会も行い、盛況のうちに大会を閉会することができました。

問合せ 健康推進課(甚目寺保健センター) ☎443・0005 FAX443・5461